

# 2013年3月期 決算プレゼンテーション

2013年5月16日

加賀電子株式会社(東証1部:証券コード8154)

〒101-8629 東京都千代田区外神田3-12-8

TEL:03-4455-3131

FAX:03-3254-7132

<http://www.taxan.co.jp>



# 2013年3月期 連結業績

# ■ 連結損益計算書の業績比較

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2012年3月期		2013年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	229,856	100.0%	216,405	100.0%	-13,451	-5.9%
売上原価	201,350	87.6%	188,943	87.3%	-12,407	-6.2%
売上総利益	28,506	12.4%	27,462	12.7%	-1,044	-3.7%
販売費及び一般管理費	26,438	11.5%	26,202	12.1%	-236	-0.9%
営業利益	2,067	0.9%	1,260	0.6%	-807	-39.0%
営業外収益	850	0.4%	955	0.4%	105	12.4%
営業外費用	348	0.2%	284	0.1%	-64	-18.4%
経常利益	2,569	1.1%	1,931	0.9%	-638	-24.8%
特別損益	233	0.1%	503	0.2%	270	115.9%
税金等調整前当期純利益	2,802	1.2%	2,434	1.1%	-368	-13.1%
法人税及び住民税	1,784	0.8%	1,594	0.7%	-190	-10.7%
法人税等調整額	95	0.04%	559	0.3%	464	488.4%
少数株主利益	8	0.00%	-164	-0.1%	-172	-2150.0%
当期純利益	914	0.4%	444	0.2%	-470	-51.4%

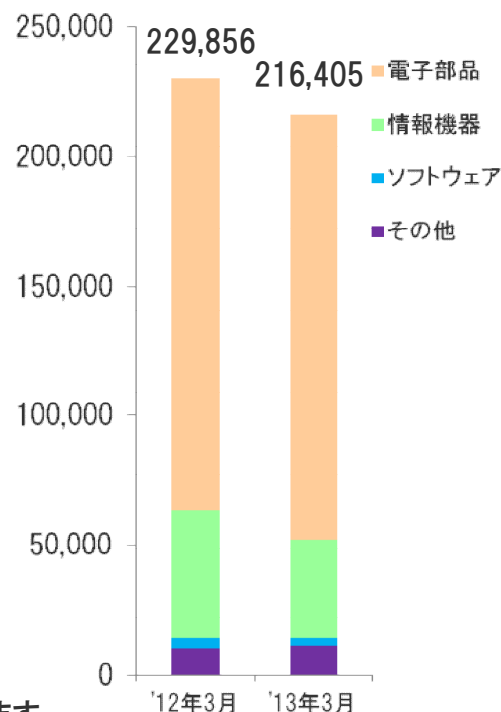
# ■ 連結事業部門別業績比較

(単位:百万円)

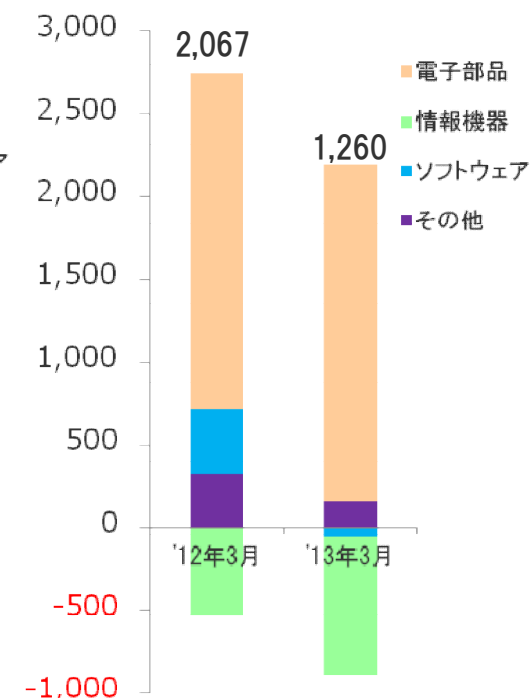
	2012年3月期		2013年3月期		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
	セグメント利益		セグメント利益			
電子部品	166,468	72.4%	164,164	75.9%	-2,304	-1.4%
	2,021	97.8%	2,040	161.9%	19	0.9%
情報機器	49,360	21.5%	38,305	17.7%	-11,055	-22.4%
	-533	-25.8%	-836	-66.3%	-303	-
ソフトウェア	3,854	1.7%	2,874	1.3%	-980	-25.4%
	402	19.4%	-61	-4.8%	-463	-115.2%
その他	10,173	4.4%	11,060	5.1%	887	8.7%
	319	15.4%	157	12.5%	-162	-50.8%
計	229,856	100.0%	216,405	100.0%	-13,451	-5.9%
	2,067	100.0%	1,260	100.0%	-807	-39.0%

※セグメント利益は調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。

売上高



セグメント利益



## 主な増減のポイント

### ■「電子部品事業」(半導体・一般電子部品・EMSなどの開発・製造・販売)

車載関連向け電子部品・半導体および海外における空調機器向けなどのEMSビジネスが伸長しましたが、国内アミューズメント機器向け電子部品・半導体などの売上高が減少した結果、売上高は1,641億64百万円となりました。

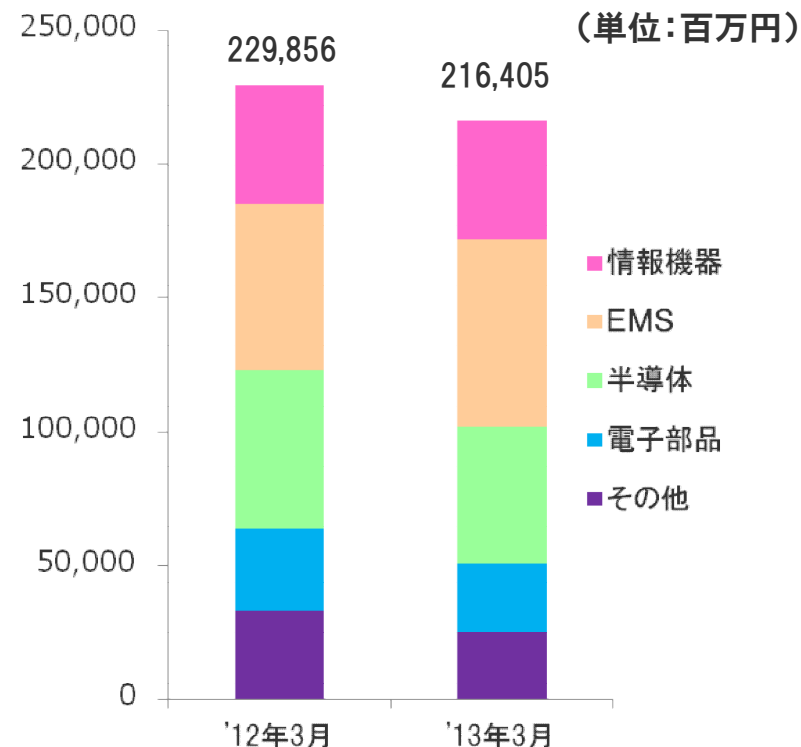
### ■「情報機器」(パーソナルコンピューター・PC周辺機器・写真や映像関連商品及びオリジナルブランド商品などの販売)

パーソナルコンピューターの販売の落ち込みや家電量販店および専門店向けメモリーカード関連商品の売上高が商流変更の影響により減少した結果、売上高は383億5百万円となりました。

# ■ 連結商品分類別売上高実績【ご参考】

(単位:百万円)

	2012年3月期		2013年3月期		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
情報機器	44,276	19.3%	44,147	20.4%	-129	-0.3%
EMS	62,655	27.3%	70,546	32.6%	7,891	12.6%
半導体	59,303	25.8%	50,960	23.5%	-8,343	-14.1%
一般電子部品	30,356	13.2%	25,636	11.8%	-4,720	-15.5%
その他	33,264	14.5%	25,113	11.6%	-8,151	-24.5%
計	229,856	100.0%	216,405	100.0%	-13,451	-5.9%



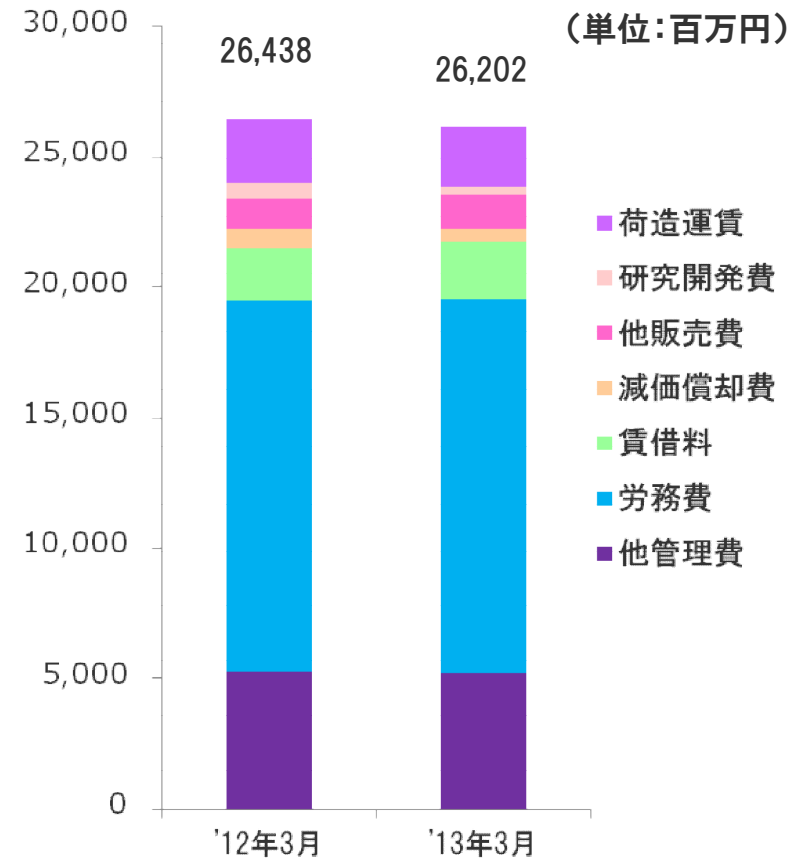
## 主な増減のポイント

- 「情報機器」前年同期比 -1億29百万円(0.3%減)  
パーソナルコンピュータの販売の落ち込みや家電量販店および専門店向け主力メモリーカード関連商品の商流変更により、売上高は441億47百万円となりました。
- 「EMS」前年同期比 +78億91百万円(12.6%増)  
海外における日系空調機器メーカー向けなどのEMSの増加により、売上高は705億46百万円となりました。
- 「半導体」前年同期比 -83億43百万円(14.1%減)  
国内におけるアミューズメント機器向け半導体の受注の減少などにより、売上高509億60百万円となりました。
- 「電子部品」前年同期比 -47億20百万円(15.5%減)  
海外での日系デジタル家電メーカー向け電子部品の受注が減少した結果、売上高は256億36百万円となりました。

# ■販売管理費の状況

(単位:百万円)

	2012年3月期		2013年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
荷造運賃	2,450	9.3%	2,346	9.0%	-104	-4.2%
研究開発費	576	2.2%	265	1.0%	-311	-54.0%
その他販売費	1,159	4.4%	1,306	5.0%	147	12.7%
販売費計	4,185	15.8%	3,917	14.9%	-268	-6.4%
減価償却費	731	2.8%	543	2.1%	-188	-25.7%
賃借料	2,025	7.7%	2,160	8.2%	135	6.7%
労務費	14,249	53.9%	14,363	54.8%	114	0.8%
その他管理費	5,247	19.8%	5,217	19.9%	-30	-0.6%
管理費計	22,252	84.2%	22,283	85.0%	31	0.1%
販管費合計	26,438	100.0%	26,202	100.0%	-236	-0.9%



## 主な増減のポイント

### ■管理費

荷造運賃 : 前年同期比1億4百万円減少。売上高の減少による。

研究開発費 : 前年同期比3億11百万円減少。開発案件のスケジュールの変更など。

# ■貸借対照表の業績比較

(単位:百万円)

	'12年3月末	'13年3月末	増減額
流動資産	94,374	89,945	-4,429
現金及び預金	9,775	12,258	2,483
受取手形・売掛金	55,979	54,580	-1,399
商品及び製品	17,104	14,075	-3,029
仕掛品	334	637	303
原材料及び貯蔵品	4,115	4,065	-50
その他	7,067	4,330	-2,737
固定資産	20,340	21,943	1,603
有形固定資産	9,487	10,559	1,072
無形固定資産	2,245	2,226	-19
投資等	8,607	9,157	550
資産合計	114,714	111,888	-2,826

	'12年3月末	'13年3月末	増減額
流動負債	59,474	53,355	-6,119
支払手形・買掛金	41,748	37,423	-4,325
短期借入金	11,084	9,567	-1,517
その他	6,640	6,365	-275
固定負債	7,303	9,726	2,423
長期借入金	2,833	5,121	2,288
その他	4,470	4,605	135
負債合計	66,777	63,082	-3,695
株主資本			0
資本金	12,133	12,133	0
資本剰余金	13,912	13,912	0
利益剰余金	25,038	24,384	-654
自己株式	-1,333	-535	798
評価・換算差額	-3,341	-1,238	2,103
少数株主持分	1,526	149	-1,377
純資産合計	47,936	48,806	870
負債・純資産合計	114,714	111,888	-2,826

# ■連結キャッシュフロー計算書(2012年3月期及び2013年3月期)の比較

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	958	7,041	6,083
投資活動によるキャッシュフロー	-2,645	-4,910	-2,265
財務活動によるキャッシュフロー	-242	-403	-161
現金等に関わる換算差額	-171	456	627
現金等の減少額	-2,100	2,183	4,283
現金等の期首残高	11,796	9,695	-2,101
現金等の期末残高	9,695	11,878	2,183

## 主なポイント

- 営業活動によるキャッシュフロー: たな卸資産の減少などにより、70億41百万円の収入となりました。
- 投資活動によるキャッシュフロー: 有形固定資産の取得などにより49億10百万円の支出となりました。
- 財務活動によるキャッシュフロー: 配当金の支払いなどにより、4億3百万円の支出となりました。



# 2014年3月期 通期連結業績予想

# ■通期連結業績予想

## 連結損益計算書比較(2013年3月期実績⇒2014年3月期予想)

(単位:百万円)

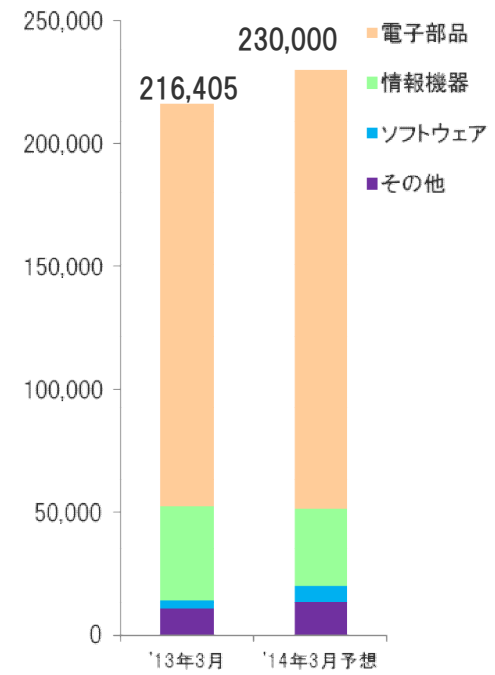
	2013年3月期(実績)		2014年3月期(予想)		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	216,405	100.0%	230,000	100.0%	13,595	6.3%
売上原価	188,943	87.3%	201,000	87.4%	12,057	6.4%
売上総利益	27,462	12.7%	29,000	12.6%	1,538	5.6%
販売費及び一般管理費	26,202	12.1%	27,200	11.8%	998	3.8%
営業利益	1,260	0.6%	1,800	0.8%	540	42.9%
営業外損益	671	0.3%	500	0.2%	-171	-25.5%
経常利益	1,931	0.9%	2,300	1.0%	369	19.1%
当期純利益	444	0.2%	1,200	0.6%	756	170.3%

# ■ 連結事業部門別業績予想

(単位:百万円)

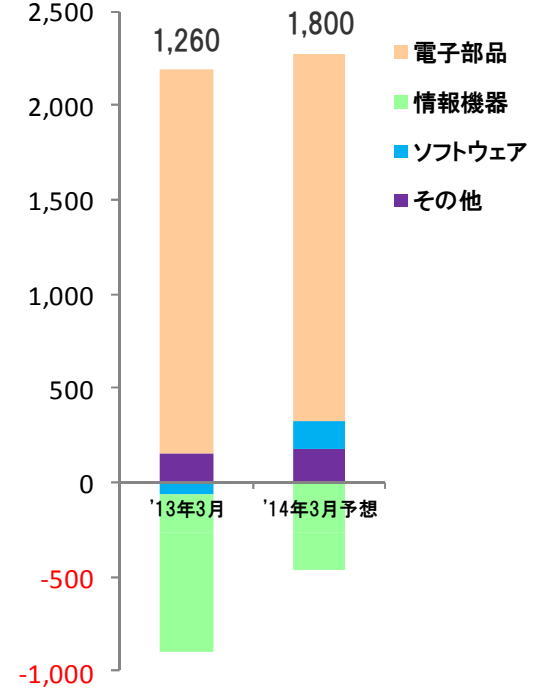
	2013年3月期通期		2014年3月期通期(予想)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
	セグメント利益		セグメント利益			
電子部品	164,164	75.9%	178,500	77.6%	14,336	8.7%
	2,040	161.9%	1,950	108.3%	-90	-4.4%
情報機器	38,305	17.7%	31,000	13.5%	-7,305	-19.1%
	-836	-66.3%	-470	-26.1%	366	-
ソフトウェア	2,874	1.3%	6,800	3.0%	3,926	136.6%
	-61	-4.8%	140	7.8%	201	-
その他	11,060	5.1%	13,700	6.0%	2,640	23.9%
	157	12.5%	180	10.0%	23	14.6%
計	216,405	100.0%	230,000	100.0%	13,595	6.3%
	1,260	100.0%	1,800	100.0%	540	42.9%

売上高



(単位:百万円)

セグメント利益



※セグメント利益は調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。

## 主な増減のポイント

■「電子部品事業」(半導体・一般電子部品・EMSなどの開発・製造・販売)  
 車載機器向けおよび通信機器向け電子部品・半導体販売や海外におけるEMS事業の拡大などにより前年の実績を上回る見込みです。

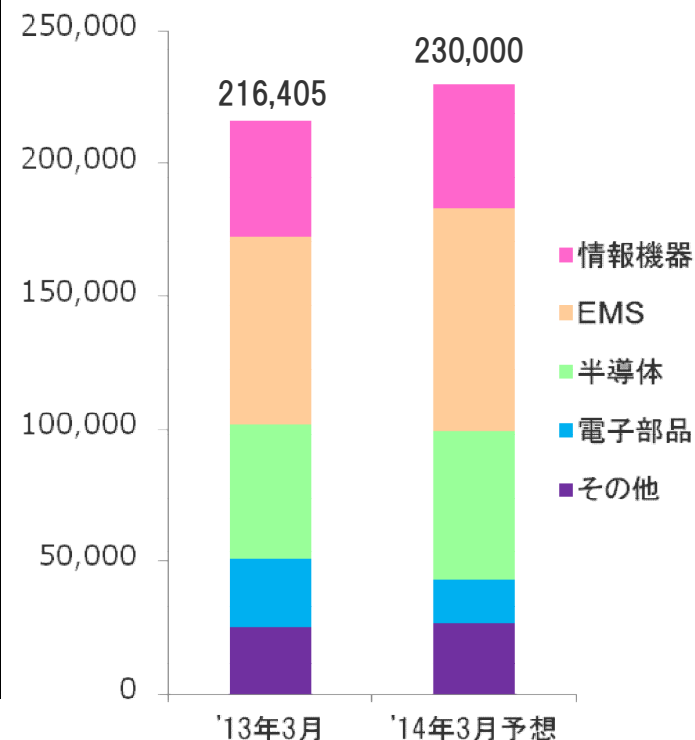
■「情報機器」(パーソナルコンピュータ・PC周辺機器・写真や映像関連商品及びオリジナルブランド商品などの販売)  
 パーソナルコンピュータなど既存商品の需要落ち込みなどにより当初の予定を下回る見込みです。

# ■ 連結商品分類別売上高予想【ご参考】

(単位:百万円)

	2013年3月期(実績)		2014年3月期(予想)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
情報機器	44,147	20.4%	46,500	20.2%	2,353	5.3%
EMS	70,546	32.6%	84,000	36.5%	13,454	19.1%
半導体	50,960	23.5%	56,500	24.6%	5,540	10.9%
一般電子部品	25,636	11.8%	16,500	7.2%	-9,136	-35.6%
その他	25,113	11.6%	26,500	11.5%	1,387	5.5%
計	216,405	100.0%	230,000	100.0%	13,595	6.3%

(単位:百万円)



## 主な増減のポイント

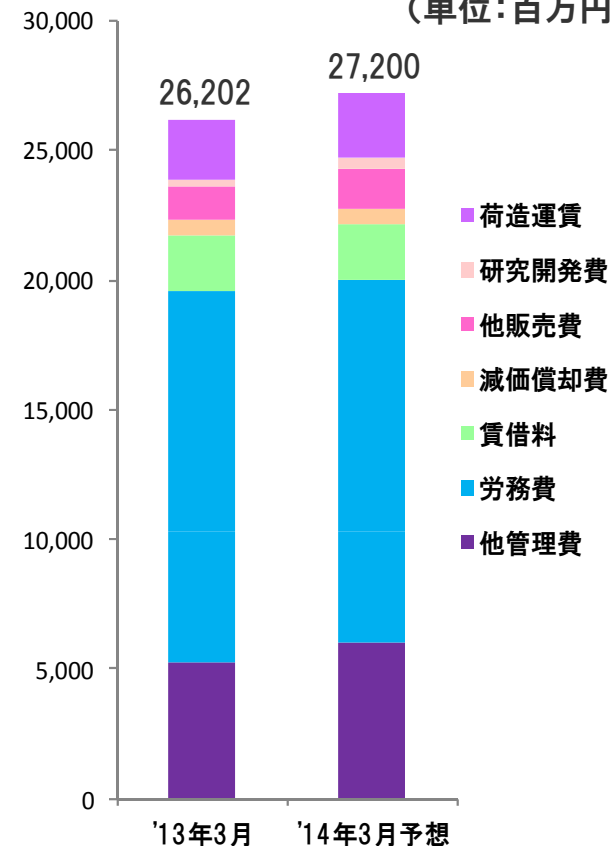
- 「情報機器」: 既存の商品の拡販や新規商材の獲得などにより売上高増加により、前年同期比+23億53百万円(+5.3%)。
- 「EMS」: 空調機器及び事務機器の海外EMSの増加などにより、前年同期比+134億54百万円(+19.1%)。
- 「半導体」: 車載及び通信機器向けの受注増加などにより、前年同期比+55億40百万円(+10.9%)。
- 「一般電子部品」: デジタル家電やアミューズメント機器向けの受注減少などにより、前年同期比-91億36百万円(-35.6%)。
- 「その他」: 映像制作およびアプリケーションソフトの販売などの増加により、前年同期比+13億87百万円(+5.5%)。

# ■販売管理費の状況

(単位:百万円)

	2013年3月期(実績)		2014年3月期予想		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
荷造運賃	2,346	9.0%	2,446	9.0%	100
研究開発費	265	1.0%	422	1.6%	157
その他販売費	1,306	5.0%	1,215	4.5%	-91
<b>販売費計</b>	<b>3,917</b>	<b>14.9%</b>	<b>4,083</b>	<b>15.0%</b>	<b>166</b>
減価償却費	543	2.1%	569	2.1%	26
賃借料	2,160	8.2%	2,186	8.0%	26
労務費	14,363	54.8%	15,329	56.4%	966
その他管理費	5,217	19.9%	5,033	18.5%	-184
<b>管理費計</b>	<b>22,283</b>	<b>85.0%</b>	<b>23,117</b>	<b>85.0%</b>	<b>834</b>
<b>販管費合計</b>	<b>26,202</b>	<b>100.0%</b>	<b>27,200</b>	<b>100.0%</b>	<b>998</b>

(単位:百万円)



## 主な増減のポイント

### ■販売管理費

- 荷造運賃 : 前年同期比1億円増加。売上高の増加による。
- 研究開発費 : 前年同期比1億57百万円増加。加賀電子、加賀ハイテック、エスアイエレクトロニクスの増加による。
- 労務費 : 前年同期比9億66百万円増加。加賀電子の労務費増加による。

# トピックス

- ①業績不振子会社の状況
- ②加賀電子グループの成長戦略
  - (1)成長市場への注力
  - (2)グローバル化の加速
    - 1. EMSの拠点拡充
    - 2. 電子部品の拡販体制強化

# ①業績不振子会社の状況

# ①業績不振子会社の状況

単位:百万円

	①加賀コンポーネント(株) (連結)			②加賀ハイテック(株)			③エー・ディーエム(株)			④(株)エスアイエレクトロニクス			⑤(株)サイバーフロント		
	'12年3月	'13年3月	'14年3月 (予想)	'12年3月	'13年3月	'14年3月 (予想)	'12年3月	'13年3月	'14年3月 (予想)	'12年3月	'13年3月	'14年3月 (予想)	'12年3月	'13年3月	'14年3月 (予想)
売上高	16,702	16,201	17,794	40,449	28,280	28,000	10,416	9,225	10,001	2,459	2,087	3,680	1,189	843	986
営業利益	-517	-253	-60	-489	-1,154	-296	-41	-279	110	-127	9	28	-66	-480	64
経常利益	-529	-175	-57	-330	-1,095	-240	-46	-283	100	-144	-9	10	-69	-488	54
当期利益	-1,028	-37	-101	-577	-1,784	-240	-22	-420	100	-145	-9	10	-335	-444	54
'13年3月期の取り組み	構造改革を実施 1. 国内工場の縮小 2. 不採算製品の整理 3. 人員整理			体質改善・新商材の発掘に注力 1. 事業の選択と集中 2. 人員整理 3. 新規ベンダー開拓			経費削減・新市場の開拓 1. 100%子会社化し、上場廃止 2. 人員整理 3. 新規ベンダー拡販			オリジナル商品の販売 1. オリジナルLSI (Y3) 販売の拡大 2. 新規ベンダー拡販 3. 加賀電子技術部門との連携			経営体制を一新 黒字化目指す 1. 100%子会社化 2. 役員の一斉 3. 事業の選択と集中		



今期も引き続き業績不振子会社の再建に注力し、上記5社の黒字化を目指します。



## ②加賀電子グループの成長戦略

(1) 成長市場への注力

(2) グローバル化の加速

1. EMSの拠点拡充

2. 電子部品の拡販体制強化

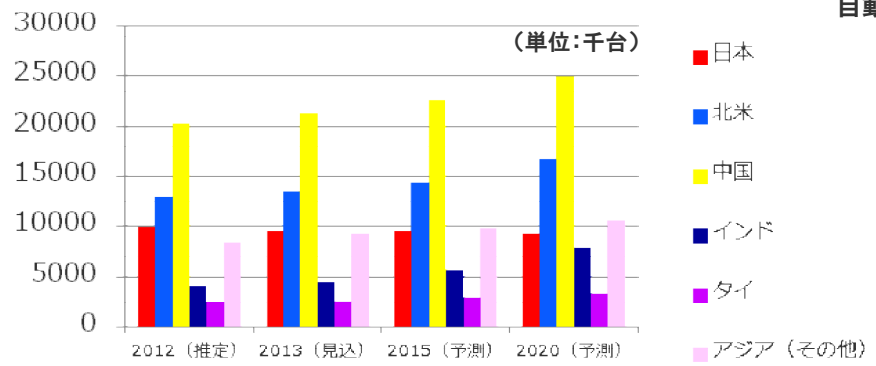
# (1) 成長市場への注力

# ②加賀電子グループの成長戦略 (1)成長市場への注力

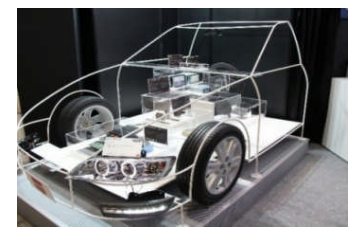
## 1. 車載

- 国内自動車/車載機器メーカー⇒アジア地域での生産体制を増強
- “ハイブリッド” “セーフティー”がキーワード⇒カーエレクトロニクス市場拡大

世界の自動車生産台数予測(出典:総合技研株式会社)



自動車生産台数と対象エレクトロニクスの世界市場推移(出典:富士カメラ総研)



### <加賀電子グループの取り組み>

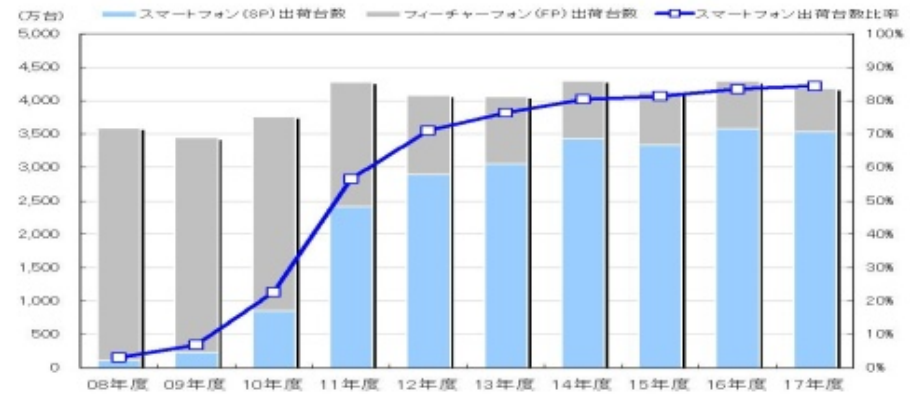
- 東芝製半導体専門商社のエー・ディーデバイスが、エーエスデバイスを吸収合併(2012年7月)、エー・ディーデバイスタイの設立(2013年2月)
  - ⇒ 東芝製車載向け半導体拡販
  - ⇒ 電子部品・半導体の調達からEMS(加賀タイランドとの協業)まで、付加価値サービス拡充
- ハイブリッドカー・セーフティーカー向け商材の多様化(パワー半導体・車載カメラ向けモジュール・液晶パネル等)
  - ⇒ カーナビゲーション向けHDD中心のビジネスからの脱却を図る

# ②加賀電子グループの成長戦略 (1)成長市場への注力

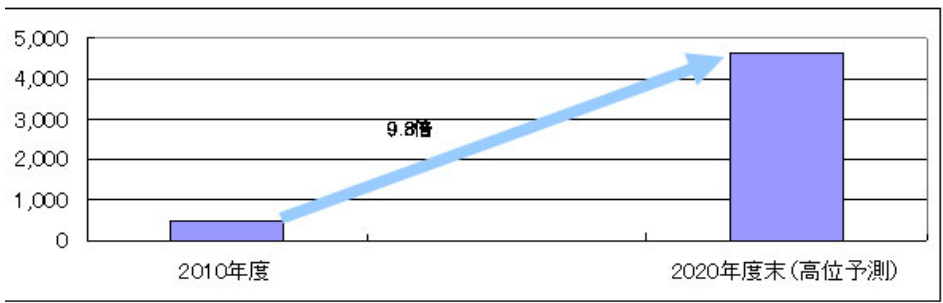
## 2. 無線・通信

- 携帯電話からスマホ・タブレットへシフト
- 環境、自動車、医療機器など様々な分野で需要が拡大

スマートフォン出荷台数の推移・予測(2013年3月予測) (出展:株式会社MM総研)



国内携帯電話モジュール端末市場 契約数予測 (単位:万台) (出典:シード・プランニング)



(シード・プランニング作成)

### <加賀電子グループ今期の取り組み>

- 通信キャリアとの協業
  - ⇒ サービス/コンテンツまで含めたビジネス提案
- 環境分野での無線・通信市場への参入
  - ⇒ スマートメーター向けセンサー販売など
- その他(タブレットナビなど)
  - ⇒ LTEモバイルルーター、LTEモジュール、USBモジュール、STB等通信モジュールの拡販



# ②加賀電子グループの成長戦略 (1)成長市場への注力

## 3. 環境

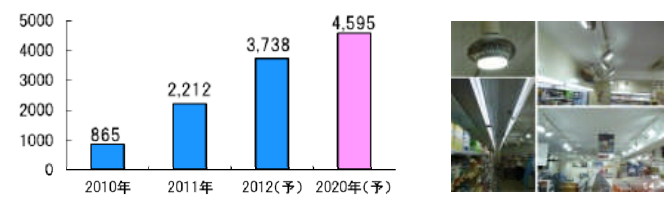
### ➤LED照明

節電ニーズの高まりによる、住宅用とオフィス・工場等施設用照明のLED化

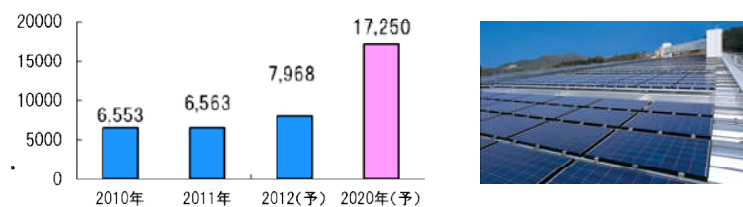
### ➤太陽光発電システム

2012年7月再生可能エネルギー発電電力の「全量買取制度」開始に伴う発電市場拡大

国内LED照明市場規模(出典:富士経済研究所)

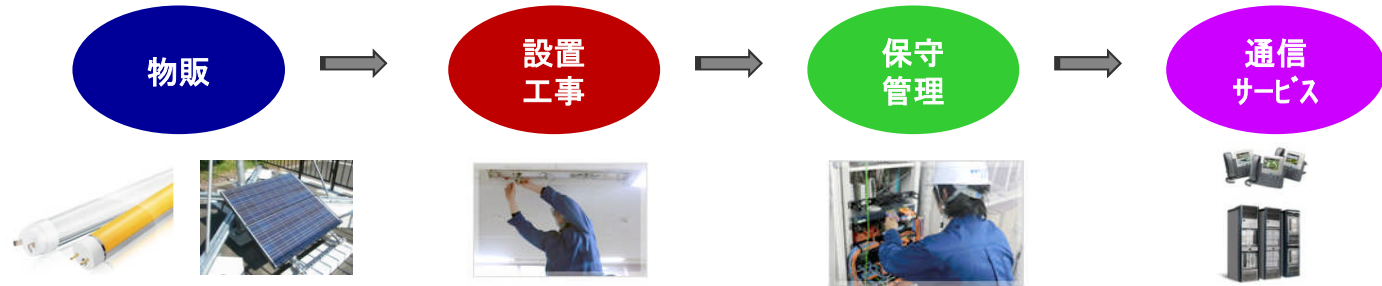


国内太陽光発電システム市場規模(出展:矢野経済研究所)



## <加賀電子グループの取り組み>

➤今期よりファシリティープロジェクト部門を設置。物販中心の環境関連ビジネスを、設置工事・保守管理から通信サービスまでワンストップで請け負う高付加価値ビジネスを本格稼働。LED投光機やメガソーラーの設置等大型案件の獲得を目指します。



## **(2) グローバル化の加速**

**1. EMSの拠点拡充**

**2. 電子部品の拡販体制強化**

## ②加賀電子グループの成長戦略 (2)グローバル化の加速

### 1. EMSの拠点拡充

#### ■中国

中国国内(中国内陸部)販売の足がかりとして、2013年4月湖北省に深センの第2工場を開設。既存のEMS拠点である深センと蘇州との連携により生産効率を高め、売上高拡大を目指す。



#### ■タイ

2011年10月の洪水を機に2012年2月にアマタナコンに新工場開設。顧客の要望に応じラインの拡張を図る。また、EMSビジネスの需要拡大から新たな拠点の検討を開始。



#### ■インドネシア

部品販売に加えて、EMSビジネスの可能性を検討中。多くの日系車載機器メーカーが進出しており、タイに続いて今後成長が見込まれる市場として期待。

### 2. 電子部品の拡販体制強化

#### ■中国

##### ・上海

2013年4月よりF A Eを派遣し、技術サポートを強化。  
現地の白物家電、自動車、モーターメーカーなどにマイコンソフトの支援や、リファレンスボードによる提案を行い拡販を目指す。

##### ・青島

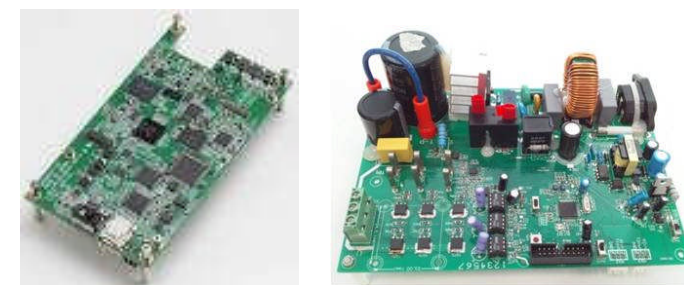
加賀電子(大連)の出先として事務所を設置。中国の大手家電メーカーに対して冷蔵庫やエアコン向けマイコンやパワー半導体の拡販に注力。

##### ・香港

ローカル企業取引先の開拓に注力。  
白物家電・スマホ・タブレット向けに、  
マイコン・LCD・NFL(電子決済)用アンテナ・  
特殊成形品などを販売。

##### ・その他

現地商社との連携を模索中。





## ②加賀電子グループの成長戦略 (2)グローバル化の加速

### ■タイ

2013年4月よりEMSビジネスを主要事業としてきた加賀タイランドに、電子部品・半導体の営業部門を設置。EMSビジネス部門との連携により、日系の車載機器・事務機器メーカーへの電子部品・半導体の販売を開始。



### ■マレーシア

2013年4月に加賀シンガポールの連絡事務所を開設。

#### ・現地ローカル企業との取引拡大

⇒ 自動車メーカーへの電子部品・半導体(センサー他)の販売など。

#### ・日系企業への拡販

⇒ 日系家電メーカーや車載機器メーカーをはじめ多くの日系企業がマレーシアに設計・生産機能をシフト。キットिंगを中心とした営業活動を展開し、部品販売だけでなく付加価値を加えたビジネスにより売上高の拡大をはかる。



## ②加賀電子グループの成長戦略 (2)グローバル化の加速

### ■インド

インドのエアコンや冷蔵庫向け半導体の営業活動を展開。  
さらに国内大手の制御パーツメーカーの販売代理店権を入手し、  
専門販売員を派遣。(従来はヨーロッパメーカーが市場を支配)



### ■アメリカ

- ・日系及び米国車載機器メーカー向けビジネス強化のため、デトロイトに営業拠点設置を検討。またキットティングによる売上高拡大を目指す。
- ・加賀台湾との連携で米国通信機器メーカーやサーバーメーカーへ営業活動開始。



### ■ヨーロッパ・ロシア

- ・2012年10月ドイツに駐在員事務所を設置、車載機器及び産業機器向け部品販売に注力。現地日系メーカー向けの営業に加え、ローカル企業にも営業活動を展開。ロシアではLED素子向け原材料の販権を元にローカル企業への営業活動を展開中。



## 加賀電子株式会社

〒101-8629

東京都千代田区外神田3-12-8

住友不動産秋葉原ビル

問合せ先: 広報室

TEL: 03-4455-3131

FAX: 03-3254-7132

E-mail: [webmaster@taxan.co.jp](mailto:webmaster@taxan.co.jp)

<http://www.taxan.co.jp>